



2024年11月5日

各 位

会社名 日本電技株式会社
代表者名 代表取締役社長 島田 良介
(コード：1723 東証スタンダード)
問い合わせ先 事業本部事業管理部長 及川 亨
(TEL：03-5624-1103)

中期経営計画（財務目標）および長期経営指針（業績目標）の修正に関するお知らせ

当社は、2021年6月2日および2024年5月31日に公表しました、中期経営計画（財務目標）および長期経営指針（業績目標）を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当該業績目標の数値は2024年5月31日に開催した決算説明会、ならびに当社ウェブサイトで公表しておりましたが、コーポレートガバナンス・コード対応充実化の観点から、今般、適時開示により公表させていただくものです。今後も経営計画につきましては、適時開示も含め公表してまいります。

記

1. 中期経営計画（財務目標）の修正

	修正前※	修正後
	2027年度目標	2027年度目標
売上高	420億円	450億円
営業利益	65億円	80億円
ROE	10%以上	12.5%

※修正前（2027年度目標）の公表時期は、2024年5月31日です。

2. 長期経営指針（業績目標）の修正

	修正前※	修正後
	2030年度目標	2030年度目標
売上高	450億円	525億円
営業利益	60億円	90億円
ROE	10%以上	12.5%

※修正前（2030年度目標）の公表時期は、2021年6月2日です。

3. 修正の理由

当社は、2022年3月期から2031年3月期までを計画期間とする長期経営指針を策定し、同計画期間を第1フェーズから第3フェーズまでの3ステップに分割し、それぞれ中期経営指針を策定しております。

第1フェーズである2022年3月期から2024年3月期は、「成長基盤の構築」を中期経営指針とし、既存事業の強化や拡大戦略の実行に取り組んでまいりました。当社を取り巻く事業環境としては、空調計装関連市場の需要が旺盛であり、首都圏では大規模な再開発案件、地方においては各種工場案件の出件が続きました。また、工事1件あたりの規模拡大や利益改善努力による採算性の向上等により、2024年3月期は当時の過去最高業績となり、当初計画していた2031年3月期の営業利益目標を前倒しで達成することができました。

第2フェーズの初年度にあたる2025年3月期の事業環境は、残業上限規制の適用開始や建設業界における人手不足問題、資材の高騰など業績確保の面では不確実な要因もありますが、市場環境としては前期と同様に旺盛な建設需要が続いております。このような状況下で、第2フェーズでは「成長基盤の拡大と生産性の向上」を中期経営指針とし、最適受注を実現する営業、施工体制の再構築・強化、DXの推進等により、同中期経営指針の達成を目指して活動しております。

こうした取り組みの結果、本日（2024年11月5日）公表の「業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」に記載のとおり、第2フェーズの初年度にあたる2025年3月期の業績は当初予想を上回る見通しとなりました。

これら第1フェーズにおける最終業績および第2フェーズ初年度の業績予想の上方修正といった業績推移を踏まえ、また資本コストや株価を意識した経営の実現に向けてROE向上を目指し、今般、中期経営計画（財務目標）および長期経営指針（業績目標）を見直し、上方修正することといたしました。

※数値目標につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後様々な要因により目標数値と異なる可能性があります。

以 上